

代表質問通告書

令和3年6月定例会

1 番 会派 みらい21 長谷川 知 司 議員

1 令和3年度施政方針について

(1) 「地域を創る」について

ア 地域運営組織と地域の既存組織との関係をどう考えているか。

イ 人口減少や少子高齢化などにより、自治会、子供会、老人クラブなどのコミュニティ組織の運営に支障を来しているが、地域運営組織の設置によってどのようなメリット・デメリットがあると考えているか。

(2) 「ひとを創る」について

ア 市として大学に求めるものは何か。

イ 市として市内4高校の特色をどう生かすか。

(3) 「まちの価値を創る」について

ア LABV方式による商工センターの建て替えが、まちの賑わいにどのようにつながるのか。また高砂用地と福祉センター跡地をどのような形で生かしていくのか。

イ 観光も市の魅力であり、市の価値を高めると思うが、観光整備のことはどう考えているか。

ウ 移住・定住には、若者だけでなく高齢者にも住み続けたいまち「住み良い山陽小野田市」を感じてもらうことが大事だが、そのために必要なものは何か。

(4) 一期目の実績と反省も加えて二期目の市政をかじ取りされるが、市民に分かりやすい言葉で言うと、二期目は今までとどこが違うのか。

2 番 会派 明政会 伊 場 勇 議員

1 令和3年度施政方針について

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響と今後の支援策について

ア 財政面での影響をどのように捉えているのか。

イ 今後更に影響が長期化すれば、市民生活と地域経済への影響は計り知れない。雇用を守り、職場を維持するため、より市民が積極的と感じられる支援策を講じるべきである。雇用情勢をどのように認識して

いるのか。また、対策をどう考えているか。

ウ 公共施設等の使用条件や「正しく恐れる」ための情報を更にスピード感を持って効果的に発信する必要があると考える。どのように対応していくのか。

(2) 人口減少社会を見据えて

ア 持続可能な地域づくりに必要な「多様性」をどのように推進していくのか。

イ 令和4年度から津布田小学校の統廃合が予定されている一方、高千帆小学校は新校舎の増築が進んでいる。厚狭地区と高千帆地区への人口の集中をどのように考え、まちづくりを進めていくのか。

ウ 子育て世代から選ばれるまち推進プロジェクトの各施策が、今後の出生数にどのように影響していくのか。

エ 6次産業化・農工商連携の推進によって、どのような効果を期待しているのか。

(3) デジタル化の推進について

ア 令和3年度からデジタル推進室を設置する中、デジタル化に必要な構想力を全庁にどのように備えさせて、推進していくのか。

イ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進において、市役所の役割をどう考えているか。また、市民、企業、様々なコミュニティなどの社会や地域の課題に耳を傾け、そこにデジタル技術を生活に浸透させるアイデアを結び付け、そこで育成されたスキルを伝えていくことが必要であり、そうしたDXの柔軟な推進体制に加え、デジタルに詳しくない人も支える必要がある。これらの視点を踏まえ、どのように進めていくのか。

ウ 効果的な情報発信・情報収集の手法と重要性をどのように考えているのか。

3番 会派 新政会 松尾 数則 議員

1 令和3年度施政方針について

(1) 「地域を創る」の内容について

ア 地域のつながりや支え合いの仕組みづくりをどのように作るのか。

イ 具体的な施策として地域運営組織を立ち上げ、事業展開する予定と思うが、持続可能な地域づくりに向け、地域課題解決のためには何が必要か。

(2) 「ひとを創る」の内容について

- ア 市政運営において「ひとを創る」ことは重要と思うが、どのような人を創って活躍してもらいたいのか。
- イ 包括教育連携・協力に関する協定により整備された推進体制を人材の育成や活力ある地域社会の形成にどのように活かすのか。
- ウ スマイルエイジングの施策には健康遊具の設置やウォーキング以外に何があるか。
- (3) 「まちの価値を創る」の内容について、外に誇れる魅力、例えば新幹線、高速道路、製造業、市立大学等を人々から求められる価値とするとあるが、その価値とは何と考えているか。
- (4) 三つの「創る」の観点について、都市部から地方部へ人の流れをどのように作るのか。
- (5) デジタル技術の活用について、具体的にどのようにまちづくりに活用するのか。